

# 広報第70号

# SUNSHINE-VILLA

## 第2サンシャインビラ



第70号  
社会福祉法人  
福陽会  
第2サンシャインビラ  
東京都福生市福生  
3244-10  
TEL 042-553-3701  
編集 広報委員会

職員手作りの鳥居



# 令和5年 元旦

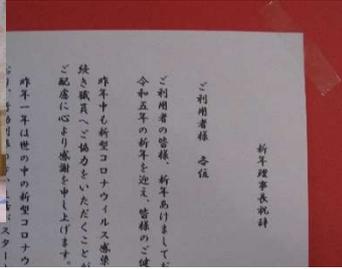
明けまして

おめでとう

ございます



立派な鳥居が出来ました



お正月 お祝い膳



ジャラジャラ～

お願い事が叶いますように

笑顔のある暮らし



施設長・センター長

佐々木 和仁

新年、明けましておめでとうございませす。本年も昨年同様よろしくお願い申し上げます。

去年はロシアのウクライナ侵攻に始まり、「燃える闘魂」アントニオ猪木さんが闘病の末、人生の幕を引く事になりました。プロ野球では若い世代が完全試合や三冠王のタイトルを獲得し、サッカーワールドカップでは日本選手が躍動しました。今年の漢字が「戦」であった事は納得できるものなのかもしれません。

さて、利用者の皆さんの施設生活であり、我々職員のプライベートであり、そこにはその人それぞれの暮らしがあります。その暮らしの中で大切な事は「笑顔」です。その暮らしの中で大切な事は「笑顔」です。我が家には数年前に他界した義理の父が大切に育てたミカンの木が3本あります。昨年、一昨年と2年続けて職員が利用者さん数名と共にミカン狩りに来てくれました。コロナ前までは毎月のシ

ョッピングや日帰りドライブ等、外出機会は大変多くありましたので、利用者の皆さんの楽しみも減少する事となつてしまいました。

当日は2年続けて天気も良く絶好の外出日となりました。我が家に到着しミカンの木を見るなり、利用者の皆さんの会話も弾みます。「あそこのミカンが美味しそうだから取りたいのよ」と普段は車イスで生活している利用者さんが、自ら立ち上がりミカンを狩る様子はとても生き生きとしています。ミカンを狩って笑顔、食べて笑顔、お茶を飲んで笑顔、利用者さん達の笑顔を見ると、職員も自然と笑顔になります。「こんなに美味しいミカンを食べたのは初めてだ」「そんなに取ったら明日の分が無くなるよ」「来年も連れて来てね」そんな話を聞いていると、喜ばしい感情が溢れてきます。

「笑顔」は人を幸せにする力を持っているように思います。そして日常の中で笑顔が多ければ多いほど、自身も周りの方も幸せで豊かな気持ちになれるのではないのでしょうか。まだまだコロナの状況により我慢するべき事がありますが、今年もたくさん笑顔がみられるように、職員一同色々な事を考えて実行して行き

たいと思います。

本年も皆様方からのご指導、ご鞭撻をお願い申し上げますと共に、この場をお借りして医療と介護の最前線で今日も頑張っている方々に感謝の言葉を送りたいと思います。



今年もよろしくお願ひし致します

佐々木施設長・田村統括施設長（前列）

# 文化祭 10/20



令和4年12月27日  
利用者調査実施（第3者評価）



挑戦

2階介護サブリーダー

細谷 裕貴

新型コロナウイルスが流行して、二年が経ちました。

暗いニュースばかりの世の中ですが、昨年十一月に開幕したワールドカップでは、日本代表が初出場した8年ワールドカップでは想像もつかないほどの出来事が起きました。史上初ドイツ・スペインを破り、決勝トーナメントに進出しました。こんな奇跡が生きている中で起こるとは思いませんでした。今もまだ興奮が止みません。

私事になりますが、今年ケアマネジャーの資格取得に挑戦したいと考えています。資格を取り色々な方の役に立ちたいと思います。



「それぞれの戦い」



3階介護リーダー

栗原 和久

「覚悟して下さい」。母が自宅で転倒骨折し、入院後敗血症性ショックの為、緊急手術した時の医師の言葉だった。

自分には何も出来ないけれど頑張っている母を想い、取り敢えず願掛けで酒を断つことにした。(飲んべえには結構辛い) その甲斐あってか、4日後に医師から良い方向に進んでいる旨の電話があり、コロナで全く会えない日々が続いた1か月後、「お母さんに代わりますね」病院からの電話の向こうには、喉に管が入っていても紛れもない母の声だった。

その晩、久し振りの乾杯！ 1か月酒を断つとどうなるか。なんといつも飲んでいる〇〇ビールがプレミアムビールとしか思えない！ 何という芳醇さ・・・それから3か月、自宅に電動ベッドや手すりの準備が進み、今後はショートステイ等利用しながらの生活となる。母の性格からして嫌と言うに違いない。家族としてどう納得させるか、新しい年を迎

え新たな戦いが始まるうとしている。そして、母は今年八十七歳、今まで自分でもできてきただけに本人自身も、どう納得していくのか、それぞれの戦いがあれることは事実だ。



介護職員になって



3階 介護職員

鈴木 彩

第2サンシャインビラに入職して半年が過ぎようとしています。介護の世界は初めてで、高齢者の方とどのように接すればよいかも分かりませんでした。けれど、周りの皆様に入浴、食事、排せつ等の

介助から、日直や夜勤業務、感染対応等してお看取りと様々なことを教えて頂いています。

利用者の方にも顔を覚えて頂き、声も掛けて下さるようになりました。わたしは南側ダイルームから見える風景が大好きで、利用者様から『いいお天気だね、眺めもいいね』と声をかけられ、楽しくお話をさせて頂いています。この職員になることができて本当に良かったと思います。

失敗することや悩むことも多いですが、その度に先輩職員や利用者の方々にも励ましていただいています。早く皆様のお役に立てるよう、頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。



入職して



4階 介護職員

太田 菜摘

福陽会に入職して、九ヶ月が経ちました。

まず始めに、社会人一年目で介護のことを何も知らない私に、熱心に温かくご指導してくださった先輩職員の皆様。そんな私をたくさん応援してくださった利用者の皆様。皆様のおかげで、日々成長することができました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

以前、とある利用者様から、『あなたは太陽みたいだよ。これからも明るく照らしてね』と嬉しいお言葉をいただいたことがありました。

これからも介護の知識・技術を高めることはもちろん、利用者様の心を明るく灯せるような職員になって行きたいです。今後共よろしくお願いいたします



みかん狩り 12/8  
(もぎたてミカンを  
沢山食べました)



クリスマス会



リハビリスタッフ



医療スタッフ



介護職員

狩野 真紀

デイサービス

六月一日より、デイサービス業務にご縁があり、入職させて頂くことになりました。

狩野真紀と申します。

働き始めて7ヶ月が過ぎました。至らない点が多いと思いますが、少しでも戦力になれるように、できる限り頑張っていく所存であります。

デイサービスの職員は、相談員はじめ明るく、色々な年代の方々が、各々フォローし合いながら働いている事に感心しております。

今後共、ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。





「初心貫徹」

厨房スタッフ

亀澤 幸博

令和三年五月に入社し、もうすぐ二年近くになるうとしています。

今までずっと外食産業に携わってきましたが、マネージメント業務や店舗巡回などが主で、数値と状態を追求する毎日でした。しかし今は、厨房の調理員として先輩方と共に調理する事に喜びを感じる事が出来ます。

今までに構築された調理マニュアルや厨房のハウスルーなど覚える事も多く失敗ばかりです。



10月3日 内定式を行いました



田村副理事長 (前列中央)



施設内研修 12/20

編集後記

今年はいさぎ年、昔からその年の干支によっていろいろ特徴があるようです。うさぎは『氷河期の生き残り』という説も。古くは古事記の「因幡の白兔」があります。最近では身近な動物として飼う人も増えているようです。

この何年間は新型コロナウイルス感染症予防対策で外出の制限があり、思うような外出の支援はできずいました。今年はいさぎに因んで飛び跳ねるような、心ウキウキするような支援が出来ればと思います。

今年もご愛読の程よろしくお願致します。

(室賀)



社会福祉法人  
**福陽会**  
 特別養護老人ホーム  
**第2サンシャインビル**  
 〒197-0011  
 東京都福生市福生  
 3244-10  
 TEL 042-553-3701  
 FAX 042-553-3715  
<http://www.fukuyokai.or.jp>